

週間漁海況情報 2022年第14号

令和4年4月5日発行

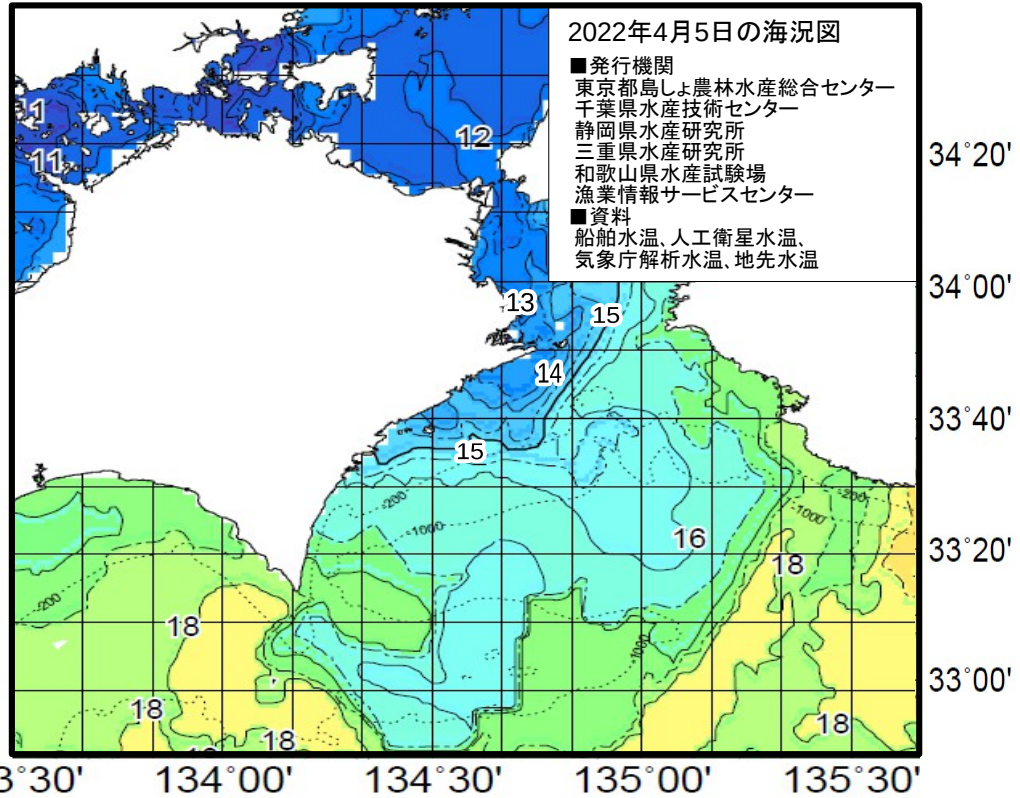
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖125マイル、潮岬沖145マイル以上を流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」している。このため、黒潮から紀伊水道外域への暖水波及は引き続き弱い。海部沿岸上灘に13～15℃の内海水が南下している。

黒潮の表面水温は19～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が11～12℃台、紀伊水道が12～14℃台、海部沿岸が13～15℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

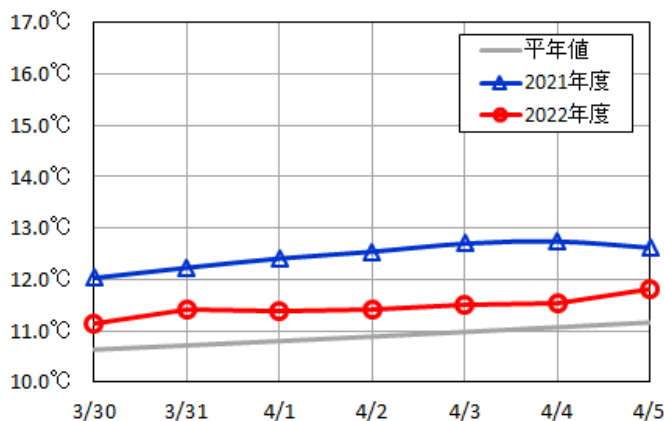
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

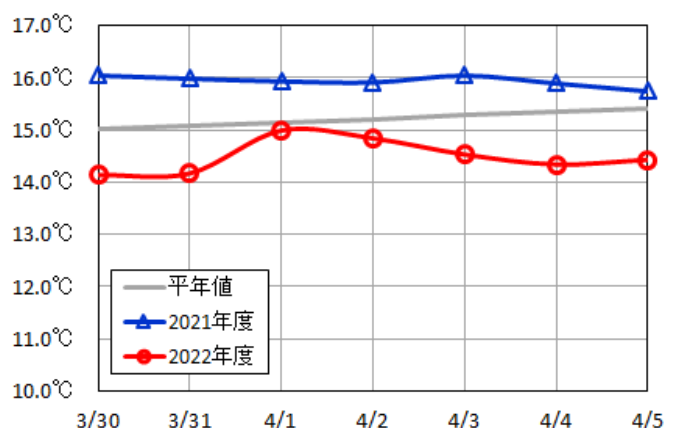
2. 地先水温(3月30日～4月5日)

鳴門地区の水温は11.5～11.9℃で「やや高め」、日和佐地区は14.1～15.0℃で「平年並み」から「やや低め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は3.6～2.6℃となった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(4月6日～4月12日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、日和佐地区は「平年並み」から「やや低め」に推移する見込み。

漁況 (3月28日～4月3日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

延縄では、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.9ト、サワラが大きく増えて特大主体に0.4ト水揚げされた。

建網では、メジナが減って0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、ボラが大きく増えて大主体に0.7ト、ブリがめじろ級主体に0.6ト、マダイが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

底びき網では、マダイが増えて2.7ト、ブリが増えてつばす級主体に0.2ト、いとより類が増えて0.2ト、チダイが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、タチウオが大きく減って0.3ト水揚げされた。

延縄では、キダイが大主体に0.2ト水揚げされた。

建網では、ブリが大きく増えて大主体に1.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく増えて豆あじ主体に1.6ト、カタクチイワシが減って1.1ト、ウルメイワシが大きく増えて0.4ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えて大主体に126.2ト、イシダイが増えて大主体に1.4ト、マアジが減って小あじ主体に0.7ト、クロダイが減って大主体に0.3ト、マダイが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	延縄	39	ブリ	928	24	めじろ級主体	↑↑
		21	サワラ	446	21	特大主体	↑↑
	建網	39	メジナ	266	7		↓
	小型定置網	7	ボラ	668	95	大主体	↑↑
		8	ブリ	588	73	めじろ級主体	→
		9	マダイ	315	35		↑↑
	底びき網	25	マダイ	2,727	109		↑
		17	ブリ	212	12	つばす級主体	↑
		17	いとより類	208	12		↑
		19	チダイ	206	11		↑↑
海部沿岸	釣り	14	タチウオ	273	20		↓↓
	延縄	11	キダイ	210	19	大主体	→
	建網	7	ブリ	1,374	196	大主体	↑↑
	小型定置網	17	マアジ	1,602	94	豆あじ主体	↑↑
		11	カタクチイワシ	1,143	104		↓
		11	ウルメイワシ	363	33		↑↑
	大型定置網	6	ブリ	126,178	21,030	大主体	↑↑
		6	イシダイ	1,356	226	大主体	↑
		5	マアジ	671	134	小あじ主体	↓
		5	クロダイ	272	54	大主体	↓
5		マダイ	209	42		↑↑	

※ 前週比 200%以上:↑↑ 120-200%:↑ 80-120%:→ 50-80%:↓ 50%未満:↓↓